

校区人権問題啓発推進委員会の取り組み

小都市では、1984年から3か年間、同和问题地域懇談会を公民館ごとに開催し、同和问题の解決に取り組んできました。参加者の意識向上には、つながりましたが、参加者の固定化、「同和问题は自分に関係のない問題」という認識不足などの課題が残りました。そこで1988年より小学校区ごと（三国は中学校区）に校区人権問題啓発推進委員会を結成しました。

校区人権推の目的は、地域における各種機関・団体相互の連携を図りながら、地域住民が自らの生き方を問い、身の回りを見つめ直すなかから、すべての人の人権を守り、あらゆる差別をなくす活動を展開し、住みよい明るい地域づくりを目指すことです。

現在では、各校区単位で、それぞれ地域独自の人権・同和问题について正しい理解を深めるために、講演会や視察研修などの活動が行われています。

本年度どのような取り組みが行われたか、主なものを紹介します。

御原(11/17)・味坂(1/23)校区人権推の取り組み

佐賀県唐津への視察研修

- ① 講話「人権ふれあいセンター唐津の取り組み」
- ② フィールドワーク「差別戒名墓石など」

右の写真は、味坂校区人権推のフィールドワークで、差別戒名墓石の説明を聞いているところ



※「差別戒名墓石」とは、一般的には戒名として使わない文字が被差別民衆に限って使用されている墓石のこと。

東野(11/12)・大原(11/26)校区人権推の取り組み

田川への視察研修

- ① 講話「田川地区人権センターの取り組み」
- ② フィールドワーク「石炭資料館など」

小郡・立石・三国校区人権推 合同研修会の取り組み(3/7)

- ① 講話「人権のまちづくりで大事にしたい視点」(仮題)
～学校と家庭と地域との真の連携を～
講師 外川 正明さん
会場 生涯学習センター 七夕ホール
開会 午前10時～

校区人権推は、一人ひとりの人権を守って明るく住みよい地域づくりを目指して、あらゆる差別をなくす取り組みを展開しています。

問い合わせ先 人権・同和教育課 内線532